

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

年 月 日

東京大学での所属学部・研究科等:	法学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ブリティッシュコロンビア大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input checked="" type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業(業界: ) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他( )			
<b>派遣先大学の概要</b>			
University of British Columbia (UBC)は国際性豊かなキャンパスが特徴的な総合大学です。カナダではトロント大学に次ぐ第二の大学として知られています。			
<b>留学した動機</b>			
将来海外の大学院に進学する可能性があること・希望する仕事で異文化圏の人々と交渉する能力が必要であると思ったこと等から、留学を通じて異なる文化圏の人たちと英語で議論したり信頼関係を築いたりする経験がをより積みたいと考えるようになった。また政治学を本場北米の大学で学んでみたいとも思った。			
<b>留学の時期など</b>			
①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部4	年生の S2 学期まで履修
②留学中の学籍:	留学		
③留学期間等:	2015年	9月～	2015年 12月
	年時に出発		
④留学後の授業履修:	年	年生の	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2015年	学部4	年生の 8月頃に 行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		92単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		0単位
	留学後の取得(予定)単位		92単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2012年	4月入学	2016年 3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	4年		0ヶ月間
⑨留学時期を決めた理由:			
当初三年時で留学することを希望していたがかなわなかったため、単位を全て取り終えて時間ができるであろう4年8学期に留学することに決めた。			
<b>留学の準備</b>			

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)			
最初に取りたい授業のリストを提出するプロセスがあるが、その後変更するのがなかなか大変な場合があるため、気をつけてできるだけ多く希望を出しておくこと(第一希望の授業でも人気のもの場合は受けられない場合が多い。逆に受けてみてから取るのをやめるのは簡単)			
②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)			
4ヶ月間の留学だったので、必要なかった。(観光ビザで入国。六ヶ月以上の滞在の場合学生ビザが必要)			
③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)			
多めに風邪薬を処方してもらった。また、カナダには湿布とカイロが存在しないので多めに持って行っておくとよい。また、持病の薬は保険がきかないので多めに持って行っておくこと。			
④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)			
大学が提携している付帯海外に加入していた。			
⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)			
特になし			
⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)			
出発前はtoefl101点。英語を聞いたり話したりする機会は多く持つようにしていた。			
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど			
ロックされていない携帯電話があれば、留学先で携帯を買う必要が無いので便利(ただ日本の携帯はほとんどがロックされている)、ほとんどのものは現地で手に入る。(日本食の食材等は日本で買うよりやや高価)			
<b>学習・研究について</b>			
①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合) ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。			
授業科目名	単位認定の申請	授業科目名	単位認定の申請
公共政策の比較政治			
第三世界について			
フランス語中級			
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)			

<p>各授業にリーディングがあった。リーディングは授業前に読んでおくと分かりやすいが、授業後の方が理解しやすく早く読めたので授業後に読むようにしていた。印象に残っているのは政治学の授業で、授業で学んだ理論を使ってペーパーを書いたこと。理論をいかに適用するかということについて丁寧にインストラクションがあり、かつ教授にもテーマについて相談に行けたのが良かった。</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p>
<p>授業数は3つ。各授業週3時間構成だったので、毎日授業があった。(月・水・金:1時間×2コマ、火・木:1.5時間×1コマ)リーディングや課題やクイズが毎週のようにあったので、授業外でもほぼ毎日図書館で勉強した(一日5時間×7日程度)。</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>シラバスを学期が始まる前にきちんと確認してはやめに課題等を進めておくこと。授業が重要な試験が多いので、授業を録音して聞き直すことも有効だった。</p>
<p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p>
<p>英語はいくら勉強してもしすぎることは無い。ただ語学だけの問題だけではなくて会話のテンポ・内容の問題だったりする(日本人は同意の文化なので相づちを打ちがちだが、同意ばかりでは話が前に進まない、また比較的沈黙を重視する文化なので相手が話し終わるまで待ちがちだが、会話のあとに沈黙が続くと退屈していると思われる)実際に色々な人と会話をして自分にとって心地よい異文化コミュニケーションのスタイルを探していけば良いと思う。</p>
<p>生活について</p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p>
<p>キャンパス内の寮に入っており、5人のルームメイトとキッチン・バス・トイレをシェアしていた。ルームメイトに恵まれ清潔で快適な日々が送れた。</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p>
<p>10月終わり頃まで大変天気が良かったが、11月頃から雨がちになる。また9月でも日陰では肌寒いのであたたかい服装は必要。また大学はダウントウンから少し離れているが、スーパー等が近くにあること、バスが発達していることからキャンパスに住んで生活に困ることは無かった。食事は自炊中心、お金はクレジットカードを使っていた。</p>
<p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)</p>
<p>寮内で盗難が発生したケースがあったため、持ち物には常に気をつけていた。医療機関は充実しているのでそこまで心配はいらなかったが、持病の薬等は保険がきかないので持っておくべき。</p>
<p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p>
<p>・毎月の生活費とその内訳</p>
<p>テキスト等は中古で手に入ることが多い(UBC textbook for saleというFacebook ページで)また、キャンパスリネンのリネンは他より高いので現地に着いてから購入することをおすすめする。</p>
<p>・留学に要した費用総額とその内訳</p>
<p>100万＝航空券(25万)、生活費(8万×4ヶ月)、家賃(32万)、その他(10万程度)</p>
<p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p>
<p>トビタテ留学Japanを受給していた。</p>

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

Exchange student club,

### 派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

かなり充実している。International studentが大変多い大学なので、留学生ならではの問題を教授やTA等に相談しやすい雰囲気。また様々なイベントが大学主催で開催されているため、友人を作る機会も豊富にある。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は朝一時まで開いている上、キャンパス内に住んでいるので、長時間集中して勉強したいときに大変便利。試験期間前は24時間開いている。ジムは登録すれば30カナダドルで一学期間使い放題、また一学期100カナダドル程度でダンス等のクラスが週一回開講されている。キャンパス内のほとんどの建物には良いwifiがあるが寮の部屋にはwifiが無いため、30カナダドル程度でwifiルーターを購入した。

### 留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

留学準備との両立で忙しかったが、特に問題は無かった。できれば奨学金に早めにアプライしておくことをおすすめする。個人的には進路が決まった段階で留学したので、純粋に興味に従って勉強でき、かつ異国にとけ込もうとする経験をできたことが個人的には良かった。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

なし

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

なし

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

( )1.研究職 ( )2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) (  )3.公的機関(機関名:外務省)  
( )4.非営利団体(団体名又は分野: ) ( )5.民間企業(企業名又は業界: )  
( )6.起業(分野: ) ( )7.その他( )

### 留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

今回の留学を通じて、自分の中に新たな価値観や考え方を得ることができたことが一番の意義だと考えている。日本の価値観で育ってきた自分自身を多文化主義のカナダで相対化して捉えることで大きな発見があった。他の誰でもなく自分の価値基準を持つことを以前より意識するようになった。また様々な人と出会い話す経験を通じて、人間関係・キャリア等に関する考え方にも変化が生まれた。

②留学後の予定

交換留学終了後、二月末までタンザニアのNGOでボランティアをし、三月に卒業。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学する前になぜ留学するのか、自分の中で確認して納得しておくことが大切だと思う。学問分野に限らず視野を大きく広げるまたとないチャンスだと思うので、留学でしかできないことは何か、留学を通じて何を達成したいのか、事前に考えておくことで実りある時間が過ごせると思う。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

UBCの交換留学生のFacebookページをよくチェックしていた。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016 年 5月 7日

東京大学での所属学部・研究科等:	教育学研究科	学年(プログラム開始時):	修士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ブリティッシュ・コロンビア大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
( )1.研究職 (○)2.専門職(医師・法曹・会計士等) ( )3.公務員 ( )4.非営利団体(○)5.民間企業(業界:人材、教育) ( )6.起業 ( )7.その他( )			

派遣先大学の概要

ブリティッシュコロンビア大学(The University of British Columbia、略称UBC)はカナダ・ブリティッシュコロンビア州にある州立の総合大学です。キャンパスはバンクーバーとオカナガンにありますが、私はバンクーバーに留学しました。トロント大学、マギル大学と並んで、カナダのトップ3校の1つとされています。特に、私の学んだ教育分野での評価は高いです。

留学した動機

英語教育(中でも、バイリンガル教育や二言語使用)を専門としているため、英仏公用語や移民の積極的な受け入れなどを背景に、言語教育が盛んにおこなわれているカナダで、理論や実践を学びたいと考えたためです。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015 年	修士2	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2015 年	9 月~		2016 年	4 月
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016 年	修士2	年生の	夏	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2016 年	修士2	年生の	6 月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				44 単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				18 単位
	留学後の取得(予定)単位				4 単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014 年	4 月入学		2017 年	3 月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3 年		ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

修士1年目に研究や専門分野に関する知識を得た上で、留学に臨みたいと考えたためです。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

留学先大学から受け取った手続きガイドや、留学生向けのwebページを参考に、手続きを進めました。また、わからないことは留学先大学の国際課に、メールで気軽に問い合わせることができました。交換留学生のfacebookグループも大学側が用意してくださり、情報交換の場になりました。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

study permitというビザを、オンライン申請で取得しました。  
手続きに要した時間は失念してしまったのですが、銀行残高証明など書類をそろえる必要があったため、早めに準備をすればよかった、と焦った記憶があります。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

大学の健康診断と、外部の歯科検診を受診しました。常備薬と、英文の処方箋もいただきました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学で加入必須の保険・危機管理サービス(付帯海学、OSSMA)と、留学先大学で加入必須の保険(iMED、MSP)に加入しました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

定期的に、指導教授に留学についてご相談していました。留学1~2か月ほど前に、留学許可願を提出し、帰国後の履修上の注意などを事務の方に確認していただきました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

留学前の夏学期に、英語で行われる授業を履修しました。留学手続きのプロセスも、英語の勉強になりました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

留学先でほぼ何でもそろるので、荷物についてはあまり心配しなくても大丈夫です。  
留学先が思ったよりも乾燥していたので、目薬を持っていけばよかったと思い、実家から送ってもらいました。

**学習・研究について**

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)  
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
LLED 489A	3	●	LLED 399	3	●
LLED 489B	3	●	LLED 572A	3	●
LLED 478A	3	●	FREN 101	3	
LLED 478B	3	●			

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

<p>交換留学生は研究活動が認められなかったので、学部と大学院の授業を履修しました。</p> <p>大学院の授業(LLED 572)は15人程度のゼミ形式で、アットホームな雰囲気でした。</p> <p>学部の授業の、LLED 489A/B(応用言語学)、LLED 478A/B(授業実践について)、LLED 399(教育実習)は、TESL certificate(英語教員資格)取得のためのコースです。</p> <p>そのため、学部生(高学年)だけでなく、院生や、スキルアップを目指す現職の教員の方など多様な学生で構成されていました。クラスは30人程度で、グループでの議論や発表が頻繁にありました。</p> <p>教育実習は、大学外(私の場合は、大人の移民向け語学学校)で10時間以上の観察と10時間以上の授業を行うコースです。</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など</p>
<p>term 1に4科目(12単位)、term 2に3科目(9単位)履修しました(1科目3時間)。</p> <p>LLEDの授業は夕方(16:30~19:30)だったため、日中に予習・課題をし、夕方に授業に行く、という生活でした。1授業につき、週に2~3のリーディング課題が出ていました。</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>予習や授業・ゼミへの参加など、日本ではスムーズにこなせていたこと全てに負荷がかかって上手くいかなくなり、はじめは自己イメージとのギャップに苦しみましたが、慣れてくるにつれ、普段の感覚を取り戻すことができ、リラックスして臨めました。</p>
<p>⑤語学面での苦勞・アドバイス等</p>
<p>先生方が話される英語はわかったのですが、クラスメイト同士のディスカッションや雑談はスピードが速く、ついていくのに必死でした。自分も参加したい、発言したい、という意思表示を積極的に行うことで、クラスメイトが助けてくれるようになりました。</p>
<p>生活について</p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舍の様子、見つけた方法など)</p>
<p>種類: 大学内にある寮(Walter Gage Residence)  家賃: 約800ドル/月  宿舍の様子: 各階に4つUnitがあり、各Unitは6人(個室あり、キッチン・シャワー等共用)でした。Unit内は女性のみでしたが、隣のUnitは男性部屋でした。大学内のバス停に近く、便利です。部屋にはベッドがありますが、枕やシーツ等はありません。大学から渡航前の購入(約200ドル)の紹介がありましたが、到着後に大学のbookstoreで一式買ったところ(約100ドル)、結果的に安く済みました。</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p>
<p>気候: カナダは寒い印象がありますが、バンクーバーは日本より少しだけ寒いくらいでした(雪は1~2度パラパラと降って、積もりませんでした)。Raincouverとも呼ばれていて、10月~3月は雨が多かったです。日没の時間の差が大きく、冬は3~4時頃には暗くなってしまう反面、夏(4月)は8時過ぎまで明るかったため、慣れるのに時間がかかりました。</p> <p>大学周辺の様子: ダウンタウンまでバスで40分くらいです。気軽にいけるビーチやハイキングコースがあります。</p> <p>交通機関: U PASS (compass card)というカードで、バス、電車が乗り放題でした。(学期始めに大学に支払う費用の中に含まれています)</p> <p>食事: 寮のキッチンで基本的には自炊していました。スーパーマーケットは、SafewayとSave on foodsが大学の近くにありますが、No frillsやpersia foods(野菜・果物)が安いです。</p> <p>お金の管理方法: 現地の銀行は開かず、クレジットカードで済ませていました。</p>



③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
<p>治安:全体的に治安はいいと感じました。チャイナタウンやHastingの辺りは治安が悪いと言われていたので、なるべく夜は通らないように気をつけました。</p> <p>健康管理:日本より乾燥していたので、手洗いうがいを中心に心がけました。精神面では、ルームメイトや日本の家族・友人と話すことで、元気をもらっていました。留学開始時に「英語の勉強のために、日本人とは群れすぎない!」と決めてしまった結果、後になって日本語で悩みを相談できる友人がなかなか見つからず、後悔しました。</p>
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳
<p>毎月の生活費(概算):120000</p> <p>&lt;内訳&gt;  家賃:80000円  保険:7000円  食費:23000円  その他生活費:10000円</p>
・留学に要した費用総額とその内訳
<p>費用総額(概算):160000円</p> <p>&lt;内訳&gt;  航空賃:200,000円</p> <p>授業料:なし(交換留学のため)  その他大学への支払い(交通費等):50000円  教科書代:50000円</p> <p>家賃:640000円  食費:200000円  その他生活費:80000円  保険:50000円</p> <p>娯楽費(旅行等):300000円</p>
⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)
<p>支給機関:平成27年度後期(第3期)官民協働海外留学支援制度～トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム～</p> <p>支給額:月額160,000円+往復渡航費200,000円</p>
⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)
<p>高校で日本語を学習している生徒たちと会話練習する、成人の日本語学習者に日本語を教える、などのボランティアを行いました。</p> <p>カナダ東部(トロント、オタワ、モントリオール、ケベックシティ)、カナディアン・ロッキー、ビクトリアを旅行しました。</p>
<b>派遣先大学の環境について</b>
①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)
<p>留学手続き等:国際課(international house)が留学生のサポートを提供していました。</p> <p>生活面:寮内にはRA(Resident Advisor)が複数いて、相談に乗ってくれました。</p> <p>学習面:授業の先生方が気軽に相談に応じてくださいました。</p> <p>語学面:Academic writingなどを学べる、無償のコースがあるようです。</p>
②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

大学は構内にバスが通っているほど広く、施設も充実しています。キャンパス内はwifiがありますが、私の住んでいた寮の部屋までは届いていなかったため、有線にルーターをつないでwifiとして使っていました。

### 留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

留学先での学生たちとの交流をきっかけに、ワークライフバランスや海外での就労について興味を持つようになりました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

( )1.研究職 ( )2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) ( )3.公的機関(機関名: )  
( )4.非営利団体(団体名又は分野: ) ( )5.民間企業(企業名又は業界: )  
( )6.起業(分野: ) ( )7.その他( )

### 留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

カナダ人や世界各国からきたルームメイト、クラスメイト、友人たちと共に過ごす中で、自分とは価値観や性格の異なる人々から多くの刺激を得るとともに、そのような人々との関わり方を体得することができました。また、留学先にほとんど知り合いがいない状態で留学生活を開始したため、一から人間関係を構築する必要がありました。その過程で、自らの他者との関わり方を見つめなおし、他者に積極的に働きかけ、あらゆる人に感謝の気持ちを持つ姿勢を身につけることができました。何より、人脈がない、言語のハンデがある等の制約の中で、自分の道を切り開き、結果的に満足のいく留学生活を送ることができた経験から、自分に自信ができました。

②留学後の予定

修士論文の執筆と就職活動を行う予定です。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

特に、学業や就職活動等との兼ね合いで留学を迷われている方は、ぜひ思い切って飛び込んでみてほしいです。留学中に社会人の方からいただいたアドバイスですが、「社会人になったらお金はあるけど時間はない。学生の立場からしたら、就職活動など目の前のことで頭がいっぱいになってしまうかもしれないけれど、人生を長い目でみたら、海外に長期的に住んだり旅行したりする機会は今しか得られない、貴重なものだから大切にしてください。」とのことでした。個人的にも、「留学で人生が変わる」とは本当だ、と感じてしまうほど、この留学生活からの学びはとても大きなものでした。もし少しでも留学を迷われている方がいたら、応募してみてくださいな、と思います。

#### その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 4月 30日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ブリティッシュコロンビア大学
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業(業界: ) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他( )			

派遣先大学の概要

カナダのバンクーバーに位置する、のべ5万人が学ぶ西部カナダ最大の研究総合大学。2012年度版のThe Times Higher Education Supplementの大学ランキングでは、世界30位にランクされた。広大なキャンパスで心技体豊かな学園生活を送れる、最高の大学です。

留学した動機

私の将来の夢は、国連などの国際機関で働き、女性の力の活用を追求しながら途上国の開発問題に取り組むことです。留学の動機は以下の3つの点で、その将来の夢の実現に近づけることでした。1つ目は、多量かつ質の高い知識の吸収と実践的なスキルの獲得です。開発問題や女性・ジェンダー論はそれ自体が1学問分野になるほど北米では研究が進んでいます。留学で世界中から集まる優秀な学生と全身全霊勉学に励むことで、多量かつ最新で質の高い知識を吸収したいと考えました。2つ目は、人脈の形成です。世界中から集まる学生と授業はもちろん、課外活動、実践活動を通して、互いを高めあえる人間関係を構築したいと考えました。3つ目は英語力の強化です。1年間の長期留学で上で述べた3点で自らを高め、自分の夢の実現につなげようと思いました。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2015年	9月~		2016年	4月
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016年	学部3	年生の	冬	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部4			4月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位				単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				単位
	留学後の取得(予定)単位				単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学		2018年	3月卒業/修了
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

大学生活を一定程度経験し、専門的な授業も受けてある程度の知識を身に着けたうえで、留学でさらに学問を深めたかった、一方、自身の留学への思い入れとして、なるべく早く留学を始めることを希望しており、進学振り分け後最速の3年9月から留学することを決意しました。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

手続きのプロセスのすぐ時間がかかるので肝要と忍耐の精神で構えることが重要です。またそれを見越して、早め早めに準備を進め、常に余裕を持っておくことで自分も相手も楽になります。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

カナダのビザはすぐ時間がかかることで有名なので、3か月くらい前に申請をして、余裕をもっておくことが重要です。また、これは、本当に個人的な経験を踏まえた話ですが、申請許可が下りた後、オンラインで申請許可証をダウンロードし持っていくのですが、空港では、それを見せるだけでなく、そのあと実際にstudy permitのドキュメントを発行してもらうこととなります。私は、税関の人にそのオンラインでダウンロードした紙を見せたら、なぜかそのまま国境を越えて入国できてしまい、それに気づくまでの数週間、不法滞在になってしまいました。後でわかったことですが、このような状況に陥った留学生が沢山いて、空港の係員はあまり細かい事情を心得ていないようなので、自分で責任を持って、ビザを取得してください。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

歯医者、通常見てもらっている病院は全てまわり、万全の健康状態にしてから出国しました。常備薬は日本で使っているルルアタックを持っていきました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学の交換留学生は全員義務で付帯海外留学保険に入ります。その他、UBC生の義務として、BCのiMEDという保険に加入しました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

授業、試験と留学期間がかぶることはなかったので、特に特別な処置は必要ありませんでした。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOFLE101点、IELTS7.0でした。語学学習は特に英語だけのためにやったものではなく、4歳から週一回通う英会話教室くらいでしたが、国際関係論コースの授業で大量に英論文を読んだり、英語の授業がインテンシブだったので、それで英語力が強化された可能性はあります。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

ハンクーバーは基本的に何でも揃っておりました。私は醤油やみりん、餅までシツプメントで送りましたが、現地で普通に調達できます。しかし、薬は日本のものの方が良いかもしれません。というのも、薬の説明があまりクリアでなかったり、服用量が体の大きさの違いなどにより、私たち日本人とは違う可能性があるからです。留学中に「ああ、これ出発前にやっておいた方が良かった」と思うことは一切ありませんでしたが、私は祖母が茶道の先生でお茶会の道具を一式持って行ったのですが、やはり本格的なやり方は分からず、定期的開催したtea ceremonyではそれっぽくしかできなかった(それでも彼らは大興奮、大喜びでしたが)ので、より正確な方法を学んでおけばよかったと思いました。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)  
 ※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Environmental Politics	3		International Nutrition	3	
Peace and Conflict	3		African Study	3	
Gender and Pop Culture	3		Women in the Economy	3	
Introduction to Food Science	3		Introduction to Marketing	3	
			Political	3	

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

ほとんどの授業は、予習課題としてリーディングアサシメントがあり、授業は教授によるレクチャーとディスカッション、チームプロジェクトを行います。授業時間はコースによりますが、50×週3、80×週2、170×週1のどれかです。テスト期間でないときは、授業の予習のリーディングアサシメントに沢山時間を割き、授業でのパフォーマンス最大化を目指しました。私が好きだった授業はwomen in the economyという授業で、女性雇用や結婚と社会経済の関係を経済学で理論的に学ぶものです。
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など
1学期は4コース、2学期は5コース(マックス)履修しました。専攻は国際関係論ですが、留学先では自らの興味にあわせて幅広い分野を学びました。私の場合、国際関係論のコースは、4年生用のセミナーコースを、教授と直接話して履修させて頂き、リーディングアサシメントやディスカッション、プレゼンテーション、数々のエッセイなど大変勉強量の多い中、優秀な仲間にもまれて切磋琢磨しました。その他興味でfood scienceの授業やマーケティングの授業も取りましたが、大変興味深く、意外と専攻とつながることも多く、勉強になりました。
④学習・研究面でのアドバイス
私が履修を決めるときに常に心に抱いていたのは、「ここでしかできないことを学ぶ」でした。留学のプリバレッジは3つだと思います。1つ目は、自分の専攻を今までにない視点から、より深く学べること。2つ目は、全て英語で学ぶこと。英語で考え、英語でディスカッションし、何とかして自分の意見を伝える生の経験はやはり貴重です。3つ目は、専攻外の興味学問を学べること。単位に縛りがないため、今まで全く見てこなかったものを学ぶチャンスです。この3つをどう生かすかを考えながら勉強しておりました。日々の勉強に関しては、毎日コツコツに尽きると思います。沢山遊ぶこともあります。意外と時間には余裕があるので、時間を見つけては課題をやり、日々充実した生活を過ごすことが出来ると思います。
⑤語学面での苦労・アドバイス等
会話面では、最初は自分をかっこよく見せようとして、頭で英文を作って、それをかっこよく言えることしか発言しなかったり、何か良く会話が理解できなかったりしましたが、時間が経つにつれてぱっと言えるようになり、日本語の会話のテンポで面白いとも言えるようになりました。勉強面では、リーディングでは最初英英辞典を使っていましたが、辞書を触り、語義を英語で理解して、元の英文に戻ってどの意味が考えてってやっていると、元の英文の意味が追えなくなってしまうので、英和辞典を使うようになりました。四六時中英語で考えるための訓練というようなものからは離れますが、実際自分のポキャブラリーも広がり、英文もよく理解できます。
生活について
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
オンキャンパスの寮に住んでました。部屋は1人部屋でキッチンリビングバスルームを3、4人でシェアする形でした。ルームメイトとは、いわゆる留學生活で思い描くような、みんなで一緒にクッキングして、パーティーするという感じではありませんでしたが、顔を合わせたら日常会話をする程度でした。ですが、他のユニットの大親友と同じ寮だったので、しょっちゅう泊まりに行き一緒にご飯を食べたり、飲んだり、勉強したり、ボードゲームをしたりしました。大学に期限までにアプライすれば留学生はゆう線的にオンキャンパスの寮に入れてもらえると思います。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
バンクーバーは世界一住みやすい町とも言われるくらい、恵まれた環境でした。夏はからっと晴れて、毎日本当に気持ちよく、ビーチでのんびりする時間は至福の時でした。また山にも近いので、しょっちゅう友達とハイキングに行ったり、冬はスキーをしたりしました。ただし、冬は雨ばかりで、大好きなアウトドアもできず、友達と趣味のカフェ巡りなどをして勉強していました。大学周辺は高級住宅地で、豪華な家が立ち並び、その閑静な住宅街をランニングするのが好きでした。交通機関は、大学とダウンタウンはバスで、結構複雑なので、最初は苦労しました。食事は自炊ですが、スーパーは何でも揃うのであまり苦労はありません。バンクーバーは食への意識が高いので、沢山良いレストランもあり、外食も楽しいです。お金は、ほとんどカードを使用していました。送金用にカナダでアカウントを1つ作りました。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
治安は東京よりも良いくらいです。ただ、医療機関は高いので、なるべく医者にかからないように万全の体制を整えてから出国することをお勧めします。ただ、付帯海外留學保険は相当充実していて、対応も良いので、何かあったらためらわずに頼ることをおすすめします。
④留學に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
・毎月の生活費とその内訳

食費は1か月4万円、もし外食を抑えて普通の暮らしをしていたら3万円で足りると思います。交通費はバス乗り放題で約3500円の定期を持っていました。旅行が大好きだったので、月に1度はアメリカやカナダ国内、学期中の2週間休みとかはチリに行ったりしたので、娯楽費としては月平均で5万円くらいかかったと思います。

#### ・留学に要した費用総額とその内訳

航空券はFIXで19万、保険代が付帯海外留学保険とUBCの保険を合わせて15万弱、家賃が8か月で80万強、食費は4万×8か月ー(クリスマスブレイク中カナディアンファミリーの家で過ごした2週間分)=30万、交通費27000円、娯楽費40万

#### ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

トビタテ留学JAPANの第三期生として奨学金を受給していました。

#### ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

週に1回プールに行ったり、友達とバスケットボールやスケートボードをしていました。週末は晴れいたら毎週のように夏はハイキング、冬はスキーに行っていました。ただ冬は雨が多かったので、お気に入りのカフェで友達と勉強したりしました。学期と学期の間のクリスマスブレイクはエドモントンのカナディアンファミリー(母が留学していた時のホームステイ先で、それ以来2、3年に一度往来している関係)の家で2週間過ごしました。授業終了後試験期間前の休暇を使って、1学期はロスアンゼルス、2学期はサンフランシスコとシアトルに行きました。2学期のリーディングブレイクの12日間は、チリに行きました。長期休暇は常に旅行しておりました。

#### 派遣先大学の環境について

##### ①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

サポートシステムは充実しているようで、色々な情報を耳にしましたが、私自身は特に使いませんでした。留学開始直後のVISAの問題の時に、グローバルオフィスに行ったら、イミグレーション専門の担当者がいて、助かりました。

##### ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館、スポーツ施設は日本の大学からは想像もつかない充実様でした。図書館は10個くらいあって、テスト期間には24時間オープンしたりしていました。食堂は、日本の学食のようなものではなく、レストランやカフェがあちらこちらにあるという感じです。

#### 留学と就職活動について

##### ①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

まだ本格的な就職活動は行ってないので分かりません。

##### ②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

とても大きな影響を与えたと思います。Quality of Lifeというか、人生における本当の幸せは何で、自分はどくなりたくて、そのためにはどういう仕事、企業、業界があっているのだろうと考え直しました。日本人の典型的な考え方にこだわらず、お金を稼ぐための手段ではなく、自分らしく、自分の幸せに直結する生きがいになる職を見つけたと思います。また、UBCでは女性が男性と全く同等にパフォーマンスを発揮していたので、私も自立した女性として、大きく輝きたいと思いました。

##### ③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

ボストンキャリアフォーラムに参加しましたが、卒業は2018年で対象ではないため、準備はほとんどせず、多くの企業を回り、雰囲気をつかみました。また企業のディナーなどで、こういう世界もあるのか、と新しい経験をしました。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

( ) 1.研究職 ( ) 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) ( ) 3.公的機関(機関名: )  
( ) 4.非営利団体(団体名又は分野: ) ( ) 5.民間企業(企業名又は業界: )  
( ) 6.起業(分野: ) ( ) 7.その他( )

### 留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

学んだことは多様性と自信です。バンクーバーやUBCの先生生徒は本当に多様性豊かで、違いに対してオープンで、それに価値を見出します。私も日本では「○○ちゃん変わってるよね～」と言われますが、向こうでも隠さずcrazy girlとなっていました。でもそれをみんなが「so special. I love it!!」として受け止め、のびのびさせてくれます。色々なバックグラウンドの人が集まる中で、1つ1つを大切に、それぞれの違いを生かそうとする多様性に対する柔軟性を学びました。また、8か月の様々な経験を通して、自分はどこに行っても努力できるし、自分の場所を作れるし、人を巻き込めるとの自信を得ました。国際関係論についての知識が深まったとか、そういったことよりも、自分は、全て新たな視点から1つ1つの物事、そして自分を見つめ直したこと、人に助けられ続けて人間関係の大切さを学んだことの意味は大きいと思います。留学の意義は人によって違うけれど、私にとっての成長は、そういった面が強いと感じます。

②留学後の予定

3年生の半分と4年生を終えて卒業する予定です。就活を始めます。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

やらない後悔よりやった後悔です！とにかく新しい世界に一步踏み出してみてください。世界中の素晴らしい仲間と新しい自分に出会えます！

### その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

留学体験記や留学持ち物リストのようなウェブサイトを参照しました。また、先輩に話を聞くのが一番役に立ちました。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。



東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年5月3日

東京大学での所属学部・研究科等:	法学部	学年(プログラム開始時):	学部3
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	University of British Columbia
卒業・修了後の就職(希望)先:			
( )1.研究職 (✓)2.専門職(医師・法曹・会計士等) ( )3.公務員 ( )4.非営利団体 ( )5.民間企業(業界: ) ( )6.起業 ( )7.その他( )			

**派遣先大学の概要**

ブリティッシュコロンビア大学は移民の街として知られるバンクーバーに位置する国際色豊かな大学です。交換、正規共に留学生が多く、様々な人種、文化圏の学生が交じり合い、生活や学習を共にします。政治から医療、工学、音楽まで学べる分野が幅広く、専門学習分野においても多様性が特徴として挙げられます。広大なキャンパスの中にはいくつもの図書館、寮、スーパーマーケット、レストランやビーチがある上、ダウンタウンからバスで約30分と便利な場所に位置しています。

**留学した動機**

東京大学で専攻している法律学に加え、国際関係論を学びたいと以前より強く考えていました。そして、国際関係理論や国際社会の機能、問題などを国際的な環境で学びたいと考え、多種多様な人種の集まるカナダへの留学を決めました。

**留学の時期など**

①留学前の本学での修学状況:	2015年	学部3	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:					
③留学期間等:	2015年	9月~	2016年	4月	
	学部3	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016年	学部4	年生の	夏	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2019年	修士2	年生の	11月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		48	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			18単位	
	留学後の取得(予定)単位			66単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2013年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		0ヶ月間		

**⑨留学時期を決めた理由:**

専門である法律学の学習を終える前に国際関係論を学び、その後の学習に活かしたいという思いがあり、できるだけ早く留学をしたいと考えていました。ただし、全学交換留学は学部3年以上でしかできないため、この時期となりました。

**留学の準備**

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

留学先大学のgo global オフィスからの指示に従ってスムーズに行うことができました。問い合わせのメールもすぐに返ってきたため、非常に助かりました。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

Study Visaを取得しました。申請から数日で許可がおり、特に問題はありませんでした。ただし、申請にあたって金銭的余裕を証明する書類が必要であり、銀行で作成してもらう必要があるため、時間的余裕は必要です。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特に医療関係の準備は行いませんでした。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京大学から交換留学をする学生には必須である学研災付帯海外留学保険に加入した上、留学先大学の規定で州保険に加入しました。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特にありません。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

英語での日常会話には自信があったのですが、留学先の授業は理解に苦労しました。専門的分野でのスピーキング、リスニング、ライティングに関しては出発前に備えておいた方がよいと感じました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

基本的にほとんどのものはバンクーバーでそろいます。アジア系の移民も多い街なので、アジア系の食品等にも困りませんでした。

**学習・研究について**

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
POLI260 Introduction to Global Politics	3	●	ANTH201 Ethnic Relations	3	●
ASTU210 Global Citizenship, Part1	3	●			
ASIA314 Premodern Japan	3	●			
POLI373 Ethics in World Politics	3	●			

ASTU211 Global Citizenship, Part2	3 ●		
②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)			
<p>全ての授業で生徒と教授間、生徒同士のコミュニケーションが活発に行われます。積極的にディスカッションに参加しなければ授業においてかかれてしまうため、すべて理解できなくてもとりあえず発言する姿勢が大切だと感じました。Ethics in World Politics という授業では授業の三分の一がディスカッションであり、多種多様なバックグラウンドを持つ生徒がそれぞれの倫理観に基づいた視点から国際関係理論や国際社会問題について議論するスタイルがとても興味深かったです。</p>			
③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など			
<p>正規の学生は一学期3~4授業(1授業につき週3時間程度)とります。私は両学期とも3授業履修し、1授業を聴講しました。すべての授業で事前に複数の論文を読む予習が必須であり、すべてこなそうと思うと一日3、4時間はかかります。また、評価ではレポート、中間試験、期末試験、授業貢献度(積極的な発言、ディスカッションへの参加)があり、学期通じて常に課題がある状況です。</p>			
④学習・研究面でのアドバイス			
<p>わからない部分、さらに理解を深めたい部分はすぐに質問する姿勢が大切だと思います。授業中の教授への質問、発言が認められている上、授業後やオフィスアワー(教授が生徒の質問等のために研究室を開放している時間)を活用して質問をすることが可能です。また、教授の補佐をするTAへの質問や同じクラスの学生と会話することも深い理解につながります。</p>			
⑤語学面での苦勞・アドバイス等			
<p>留学当初は専門的な英語が必須となる授業の講義やディスカッション、レポート等に苦勞しました。ただし、徐々に慣れてくるので圧倒されず、ついていくことが大切かと思えます。</p>			
<b>生活について</b>			
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舍の様子、見つけた方法など)			
<p>Fairview Cresent という学生寮に住みました。4人でのルームシェアで、親しい友人もでき、とても楽しい寮生活となりました。留学先大学からの指示で申請しましたが、あまり複雑ではありませんでした。家賃や支払い方法等、ウェブサイトに掲載されています。</p>			
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)			
<p>4~9月は乾期で天気が良いですが、10月~3月は雨期で雨が多く曇りがちです。気温は東京と比べてあまり高低差がなく、夏は涼しく、冬はあまり寒くないです。バス、電車はcompass cardという学生限定の乗り放題のプランに加入するため、便利でした。食事に関しては基本は自炊し、友達と寮内外で外食することもたびたびありました。バンクーバーはどこでもクレジットカードが使えるので、基本的に現金での支払いは行いませんでした。ただし、寮費や大学への支払いはクレジットカードが使えないことが多いので、銀行に口座を作り、支払いました。</p>			
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)			
<p>バンクーバーの治安はいいですが、大学のキャンパスでは事件(性犯罪等)が発生していることもあり、夜一人で歩くには注意が必要です。医療面に関しては、州保険でほとんどの治療はカバーされているため、追加の医療費はほとんどかかりません。</p>			
④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)			
・毎月の生活費とその内訳			

生活費(毎月)6万円:食費4万円、娯楽費1.5万円、医療費約0.5万円

・留学に要した費用総額とその内訳

総額130万:航空賃15万円、授業料0円(東大への支払い)、教科書代5万円、家賃60万、娯楽費20万、生活費30万

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

Jasso海外留学支援制度奨学金を受給し、月8万円いただきました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

毎週ダウンタウンイーストサイドでボランティアを行い、長期休暇にはカナディアンロッキーやウィスラー、シアトル等に旅行にでかけました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

go globalのオフィスが基本的にすべての分野の対応をするため、非常にサポート体制が整っていました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

全ての建物でwifiが通っています。また、複数の図書館に沢山のコンピューターが設置されており、台数不足等に困ることはありませんでした。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

まだ就職活動は行っていません。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

英語を使えることで人や情報などアクセスできる領域が格段に広がり、将来の可能性が広がりました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特にありません。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

( )1.研究職 ( )2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) ( )3.公的機関(機関名: )  
( )4.非営利団体(団体名又は分野: ) ( )5.民間企業(企業名又は業界: )  
( )6.起業(分野: ) ( )7.その他( )

### 留学を振り返って

#### ①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

留学を通して自分の考え方、倫理観のが今まで生きてきた環境、社会に強く影響されていることに気づかされました。いままで正しいと思っていたことが、特定のコミュニティでしか通用しないということを実感し、より他文化の価値観や倫理観に対して目を向け、理解できるようになりました。

#### ②留学後の予定

ロースクールに入り、国際法の勉強をしたいと考えていますそして、将来は国際政治に関わりたいと考えています。

#### ③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学は新たな世界、視点を身をもって感じる非常に良い機会だと思います。旅行や語学留学と異なり、実際に現地の大学の授業に参加することの意義は大きく、交換留学は最適な機会なので是非検討するべきと考えます。

### その他

#### ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

特にありません。

#### ②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。